第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

所属	局名	部名	室・課（出先期間は所属）名	所属のホームページ
	県土整備局		流域下水道整備事務所	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5739/

Ⅰ　業務概要

県民の貴重な水源である相模川、酒匂川の水質保全と周辺地域の生活環境の改善を図るため、流域関連市町の協力体制のもとに流域下水道の建設と維持管理を行っています。
※ 流域下水道は、各家庭等から排出される下水を市町が管理する公共下水道管を通して、流域下水道幹線に接続し、終末処理場へ送水し処理するものです。

Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	142,763,730	1,286,149	1,811,207	2,235,789	5,268,455	1,297,370	11,898,970
	維持管理費	11,838	1,981	3,534	2,550	2,758	1,014	11,838
	計	142,775,568	1,288,130	1,814,741	2,238,339	5,271,214	1,298,384	11,910,808
人件費　（注１）			130,441	89,482	142,889	95,434		458,245
合計			1,418,571	1,904,223	2,381,228	5,366,648	1,298,384	12,369,053

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	45	46	46	46
	上記以外の職員	7	7	7	7
	計（人）	52	53	53	53

Ⅳ　業務実施状況

１　流域下水道の建設、改築更新、維持管理に関する調査・工事

流域下水道幹線の整備、処理場内の設備等の改築更新、終末処理場の上部利用施設の整備等を行います。

時期	契約件数	執行額(千円)	実績・進捗状況
第１・四半期 (前年度同期)	17 (24)	1,856,385 (2,922,000)	・箱根小田原幹線の管渠築造工事(1-2工区)が完成し、幹線整備事業の進捗を図った。 ・また、設備機器の高齢化に対応するため、相模川流域下水道左岸処理場４号焼却炉熱交換器改築工事を発注するなど、処理場内の設備等の改築更新と維持管理事業の進捗を図った。

第２・四半期 （前年度同期）	33 (17)	222,715 (1,268,793)	・土木施設の高齢化に対応するため、酒匂流域下水道左岸処理場水処理第1系列最初沈殿地補修工事の発注を行い、改築更新を進めた。 ・また、施設の雨天時増水対策として、相模川流域下水道処理場機能保全検討業務の発注を行った。 ・さらに、災害に強い施設とするため、相模川流域下水道右岸処理場エキスパンションジョイント変位量算定業務委託や津波逆流防止対策工事設計業務委託等の発注を行った。
第３・四半期 （前年度同期）	22 (14)	1,522,258 (1,258,886)	・箱根小田原幹線の管渠築造工事(2-1工区)を発注し、事業の進捗を図った。 ・また、設備機器の高齢化に対応するため、相模川流域下水道右岸処理場焼却炉改築工事、及び焼却炉補機棟改築工事を発注するなど、処理場内設備の改築更新事業の進捗を図った。 ・さらに、土木施設の高齢化と防災、減災対策に対応するため、相模川流域下水道右岸処理場高段第一分水槽耐震工事の発注を行い、災害に強い施設整備事業の進捗を図った。
第４・四半期 （前年度同期）	36 (14)	1,038,591 (1,397,333)	・箱根小田原幹線の管渠築造工事(1-3工区)を発注し、事業の進捗を図った。 ・また、設備機器の高齢化に対応するため、相模川流域下水道左岸処理場第一分水槽改築工事及び門沢橋ポンプ場汚水ポンプ電動機設備改築工事を発注するなど、処理場及びポンプ場における設備の改築更新事業の進捗を図った。 ・さらに、相模川流域下水道右岸処理場及び酒匂川流域下水道右岸処理場における、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストを図るため、ストックマネジメント基本計画策定業務を発注した。
累計 （前年度）	(69)	4,639,951 (6,847,012)	

酒匂川流域下水道左岸処理場　水処理第１系列の機械設備・電気設備改築工事　完成イメージ写真
＜事業年度　平成26年度～平成28年度＞

２　流域下水道の運転管理

流域下水道の運転管理等維持管理業務は、公益財団法人 神奈川県下水道公社に委託し、公社が実施している。

時期	執行額(千円)	主な委託内容
第１・四半期 (前年度同期)	1,896,109 (1,694,698)	・終末処理場の運転管理 ・ポンプ場や幹線管渠の保守管理 ・下水道管やマンホールの調査、点検、補修 ・下水道管から採水した下水や終末処理場で処理した水の水質分析・調査 ・終末処理場やポンプ場などの電気・機械設備の点検・補修 ・終末処理場上部の広場や施設の保守管理
第２・四半期 (前年度同期)	1,213,619 (1,375,019)	
第３・四半期 (前年度同期)	1,540,674 (1,671,412)	
第４・四半期 (前年度同期)	3,700,100 (3,584,183)	
累計	8,350,502 (8,595,312)	

３　電気事業法に基づく保安監督・検査

各終末処理場に配置している電気主任技術者は、電気工作物の工事、維持管理に係る保安監督や点検試験を実施します。

時期	件数	実績・進捗状況
第１・四半期 (前年度同期)	425 (395)	・電気工作物の障害発生による保安監督等は小規模なものを含め402件の対応をした。 ・配電設備等の点検や焼却炉の高圧・低電圧電気設備の点検・試験立会い等の定期点検23件を実施した。
第２・四半期 (前年度同期)	393 (438)	・電気工作物の障害発生による保安監督等は小規模なものを含め365件の対応をした。 ・配電設備等の点検や焼却炉の高圧・低電圧電気設備の点検・試験立会い等の定期点検28件を実施した。
第３・四半期 (前年度同期)	364 (411)	・電気工作物の障害発生による保安監督等は小規模なものを含め331件の対応をした。 ・配電設備等の点検や焼却炉の高圧・低電圧電気設備の点検・試験立会い等の定期点検33件を実施した。
第４・四半期 (前年度同期)	268 (429)	・電気工作物の障害発生による保安監督等は小規模なものを含め246件の対応をした。 ・配電設備等の点検や焼却炉の高圧・低電圧電気設備の点検・試験立会い等の定期点検22件を実施した。
累計	1,450 (1,673)	

Ⅴ　業務運営に関する評価

所属長評価	第１・四半期	・下水道の未普及解消に向け箱根小田原幹線の整備推進は大変重要であり、早期完成を目指し鋭意推進していく。 ・安定した下水処理を持続するため、処理場内の機械・電気設備等の改築更新と維持管理事業をしっかり推進していく。
	第２・四半期	・土木施設の高齢化に対応するため、酒匂流域下水道左岸処理場水処理第1系列最初沈殿地補修工事の発注を行い、改築更新を進めた。 ・また、施設の雨天時増水対策として、相模川流域下水道処理場機能保全検討業務の発注を行った。 ・さらに、災害に強い施設とするため、相模川流域下水道右岸処理場エキスパンションジョイント変位量算定業務委託や津波逆流防止対策工事設計業務委託等の発注を行った。
	第３・四半期	・下水道の未普及解消に向け箱根小田原幹線の整備を鋭意推進し、早期完成を目指していく。 ・安定した下水処理を持続するため、高齢化した処理場内の施設の改築更新を進めていくとともに、これら改築更新に合わせ、耐震対策を行うなど、災害に強い施設整備もしっかりと推進していく。
	第４・四半期	・下水道の未普及解消に向け箱根小田原幹線の整備を推進し、早期完成を目指す。 ・安定した下水処理を持続するため、処理場内の機械・電気設備等の改築更新を計画的、効率的に推進していく。 ・災害に強い施設とするため、地震、津波対策など、必要な工事、検討業務にしっかりと取り組んでいく。
	総合評価	・相模川・酒匂川の水質保全と流域市町の生活環境の向上に向けて、１日たりとも止めることが出来ない下水道施設の維持管理の徹底を図ることが出来た。 ・下水道施設の喫緊の課題である「老朽化・防災・未普及地域の解消」に対応した調査・工事を着実に推進した。 ・安全・安心して利用出来るライフラインの構築に向けて、流域下水道初動マニュアルや地震時行動マニュアル(協定業者版)の策定など、下水道施設の危機管理の強化を図ることが出来た。 ・今後も引き続き、流域市町・下水道公社・災害協定締結業者との連携を深め、危機管理体制の充実強化に努めていく。

連絡先（電話番号）	0467-87-9110